2012年（平成24年）
5月25日 第216号
毎月3回 5・15・25日発行

高齢者住宅新聞

発行所 ㈱高齢者住宅新聞社 本社 〒104-0061東京都中央区銀座8-12-15 発行人 西岡一紀
TEL 03-3543-6852（編集部） http://koureisha-jutaku.com 年間購読料18,000円（税込み）

実事求是

群馬県のバス事故、広島県のホテル火災と悲惨な事故が続いている。いずれも、事業者側が運営上の不備を行政等から指摘されながら、それを是正せず放置していたことが、大きな被害を生み出す結果となった。いくら行政や監督省庁が指導・勧告等を行っても、それを無視して営業を続けることが黙認されていては、「指導・勧告に従う正直者ほど馬鹿をみる」といった事態になりかねない。介護事業も各種法規や自治体のルール等に縛られる業界だ。そして、毎日の様に事業者が指定取消等の処分を受けている。しかし、その裏には、不適切な行為を行政等が事実上黙認してしまっているケースも相当数あるものと思われる。利用者の安全の為にも行政等のしっかりした対応が求められる。

医療・介護トレンド

社会福祉法人あかね

新たな新卒採用開始

1日で内定通知

5月29日に開催

兵庫県下で特養やデイサービスなどを運営する社会福祉法人あかね（兵庫県姫路市）はこのほど、2013年新卒採用において新たな方式を採用。筆記試験や面接を行ったその日に最終採否を決定する。4月13日にエントリーを開始した。通常採用と並行し、新卒者の獲得を強化する狙いだ。

「業界や企業の研究は自分でするので、とにかく早く採用結果を知りたい」という学生に向けて今回、社会福祉法人あかねが取り組んだのが「瞬活」。「朝来て夜には内定GET」というユニークな方式が業界で話題となっている。

採用希望者のエントリーはコース選択式。「情熱コース」と「一芸コース」を選択の上、1日かけて筆記試験やアピールタイム、3度の面接を実施する。情熱コースは「企業研究に熱心、介護に熱い思いがある、同法人への入社を強く希望する人」など。一芸コースは「自慢できる特技がある、特技を活かし福祉業界を盛り上げたい人」など。

筆記試験、面接の開催日は5月29日の1日限定。場所は同法人の介護事業所「介護総合サービスセンターロータス・オデオン」（兵庫県尼崎市、阪神出屋敷駅前）。面接終了後、その都度選考通過者を発表するオーディション形式。最終採否の決定と通知まで当日中に完了する。主な流れはオリエンテーション（1次選考）、1次面接（1人3分程度）、筆記試験を経て、1次通過者を発表。2次面接（1人15分程度）で2次通過者発表。最終面接（1人20分程度）を経て内定者を発表する。

「少しでも早く」

通常、採用活動は履歴書の提出から最終選考、内定が出るまで1カ月以上かかる。その間に業界のことや会社のことなど、時間をかけて理解を深めていくのが一般的だ。同法人では就職活動に忙しい学生に向けて、新たな採用方式で新卒者の採用を強化する方針。

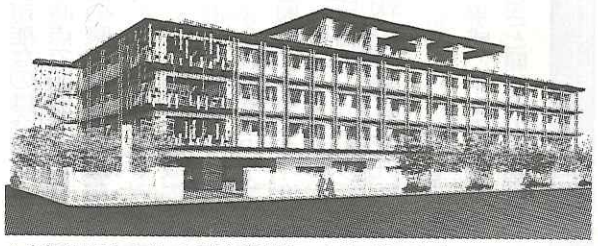
通常の新卒採用も例年通り実施する。

「就活学生の『少しでも早く効率的に決めたい』という気持ちに応え、たった1日の選考に情熱を込めます」（松本真希子統括本部長）。

来年、特養新設

同法人は平成7年設立。同年に特別養護老人ホームを開設。以来、姫路、尼崎、川辺郡のエリアで特養3ヵ所の他、高専賃（現サービス付き高齢者向け住宅）、ケアハウス、デイサービス、訪問介護、保育園などの事業を展開。近年は介護スキルのアップ、組織力の強化を目的とした介護技術認定制度や法人内グランプリの実施、大阪モード学園とのコラボレーションによる制服リニューアルなど、介護事業以外にも新たな取り組みを次々と手掛けている。また東北大震災の被災者に対する雇用の呼びかけや復興支援義援金の募集も行った。来年4月には兵庫県尼崎市内にユニット型特養100床、ショートステイ20床、在宅診療、通所リハビリ、ヘルパーステーションなどを併設した複合施設「アマルネス・ガーデン」を開設する。

▲「温泉デイサービスリゾート杣緑」


▲来年4月にオープンする複合施設「アマルネスガーデン」

トピックス TOPICS

都市型ケアハウス

都内で開設強化

経営方針発表

医療法人社団明正会、ココチケアなどからなる明正会グループ（本部・東京都葛飾区）は5月12日、都内で経営方針発表会を開催した。平成25年4月期（第23期）の事業計画で、都市型ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅、グループホームなどの新規開設を強化する方針を掲げた。

近藤正明CEO

同グループはクリニック4カ所、グループホーム8カ所をはじめ、訪問看護ステーション、サービス付き高齢者向け住宅、訪問介護、デイサービス、都市型ケアハウスなど多様な事業を展開。平成23年度（平成24年4月期）時点の事業所数は27カ所。今期は都市型ケアハウス4カ所を含め12の事業を新設。さらに来期以降2年間で24の事業を立ち上げる。職員数は現在約400名に達する。

今期の方針では「第23期以降、都内に約50カ所の都市型ケアハウスの開設」、「サービス付き高齢者向け住宅、グループホームの新設」、「訪問診療、訪問看護・介護など在宅サービスの強化」を掲げる。同時に「入院施設の開設」を目指すとともに、「職員の環境整備」、「海外進出」などに注力する。

前期の売上高は明正会、ココチケア、ハンズマムの3社で約19億円、経常利益は1億900万円。グループ全体で売上高は約20億円に達する。売上高は今期23億8600万円、来期は約30億円を見込む。

▲昨年世田谷区で開設した都市型ケアハウス

同グループは毎年経営方針発表会を実施。昨年は東日本大震災の影響で中止となったため、今年は2年ぶりの開催。近藤正明CEOは開催主旨を「全体や部門ごとの売上高・利益など経営状況をスタッフが知っておくことは非常に大事」と説明。グループの方針をスタッフに徹底させることで、組織の強化につなげている。

同グループは昭和61年に葛飾区でクリニックを開設。平成2年医療法人化。近年、城東地区で訪問看護ステーション、グループホーム、小規模多機能型居宅介護を新設した他、世田谷区で昨年、都内2番目の都市型ケアハウスを開設した。今年6月には、サービス付き高齢者向け住宅、グループホームなどの運営を手掛けるココチケアの社長に近藤和馬氏が就任する予定。

「手当ての心、安全と安心、信頼とよろこび」を理念に『医療と看護・介護の融合』をさらに進めていきたい」（近藤正明CEO）。

経営方針発表会では、古田土公認会計事務所所長の古田土満氏、日本人事総研専務の並木一成氏、ココチケア取締役の石井友二氏（ホワイトボックス社長）らがあいさつした。

インターホンの信頼のマーク

HQDからHQIへ。

インターホン工業会では、くらしの安心・安全を担うインターホン機器の品質向上と、その普及や市場の活性化をめざして自主認定制度「HQD」を運用してきました。この度、従来の戸建住宅用のほか、マンション、病院などでも重要な位置づけとなった集合住宅用インターホン、ナースコールインターホンを新たに認定対象品に加え、自主認定制度を拡充し、「HQI」として再スタートいたしました。確かな製品選びに、リニューアルの促進に、このマークをお役立てください。

HQi インターホン工業会 認定品

《HQI》とは…
HQIは、High Quality Interphoneの略称です。
インターホン工業会が定めた認定申請資格を有する事業者の製品であって、インターホンとして満たすべき機能・性能に関わる自主認定技術基準に適合していると評価した製品を、HQI認定品として認定する制度です。

認定対象製品
●非常警報付を含む一般ドアホン
●テレビドアホン ●集合住宅用インターホン ●ナースコールインターホン

HQI認定品には、HQIマークを貼付しています HQi 認定品 HQi 認定品

お問合せ 資料請求
一般社団法人 インターホン工業会
〒141-0032 東京都品川区大崎3-1-5 ルミネ五反田第2 205号
TEL.03-3492-0719 FAX.03-3492-1680
インターホン工業会 検索
http://www.jiia.gr.jp/